

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和四年三月十日

忘れない責任

今年もまた3・11の日が来ました。十一年前の出来事に対し、弔意を表すため、国旗は半旗を掲げ、震災の発生時刻に黙とうをささげるよう全国に協力依頼が来ています。

先日、テレビで当時四歳だった少年が、津波に襲われた小学校の語り部として、現地を訪れる人たちに震災のときの様子を伝えているという番組を見ました。この少年は、中学生にして防災士の資格を取得し、語り部の会の先輩から当時の状況を教わり、理解を深め、次の世代へつなげようと活動を始めたそうです。

これを見ていて、忘れないことの大切さを自覚しなければならぬと思いました。災害を体験していない者は、見たり聞いたりすることで、被災した方々の痛みを想像し、一緒に前を向いて歩いていこうとすることが必要なのだと思いました。



SDGsの17の目標のうち、「3 すべての人に健康と福祉を」「12 つくる責任使う責任」「16 平和と公正をすべての人に」の三つを、五年生は取り上げたんだよ。世界に平和が訪れるのは、いつのことになるんだろう。やっぱり祈るしかないのかなあ。



台湾の小学校

合作の壁画
右：本校作

今年度最後となった縦割りチーム対抗全校レクは、六年生がハンターとなり、他のチームの逃走者のしっぽを取るというゲームでした。途中宝探しのミッションが与えられ、校庭のどこかにある「ときわマスター」バッジを三個見つけたレックがクリアしました。

台湾の体操から始まり、台湾語を教えてもらいました。最後は一緒に、パブリカを何度も踊りました。

五年生は、オンラインで台湾の小学校とつながり、六回の交流会を行ってきました。SDGsの目標から三つを取り上げ調べたことや考えを、互いに伝え合いました。いつか台湾に行ってみたいという子もいて、世界が広がったようです。



全校レク「逃走中」優勝 レッドドラゴン